

生涯学習講座たより

新年あけましておめでとうございます。旧年中は講座にお越し戴き有難うございました。皆様にとりまして辛
多き一年になりますようお祈り申し上げます。本年もよろしくお願ひします。11月・12月に「明智光秀～正
統を守った家臣の姿～」と題して講座を行いました。お越し戴き本当に有難うございました。

さて今回の講座は「石田三成～忠誠を尽くした奉行の姿～」と題して講座を行います。石田三成は近江国石田
村（滋賀県長浜市）の土豪の子として生まれます。当時長浜城主であった羽柴秀吉に出会い、小姓として仕えま
す。信長の死後、秀吉は天下統一に向けて秀吉が台頭すると、三成は秀吉の側近として次第に台頭し、豊臣政権
の実務を担った奉行として名を馳せました。

三成のイメージは「君側の奸臣」・「陰謀家」という負のイメージが常
について回ります。しかし近年では三成は豊臣家に忠義を貫いた姿勢、領民
に施した善政、巧みな政務処理能力など高い評価によって、石田三成を慕
う現代人は多くいます。死後 400 年たった現在でも評価がわかる人物で
はないでしょうか。



今回の講座では三成が豊臣政権の中でいかなる存在であったのかを中心にお伝えしていきます。「悲劇の知将」
といわれる三成ですが、三成の言動からその人物像について迫っていきたいと思います。また関ヶ原の戦いにお
ける三成の動向についてもお伝えしたいと思います。

今回の講座では 1 月・2 月に開催のため降雪の時期となります。大雪警報が発令された場合は講座を延期致し
ます。延期した場合は改めて日時をお伝え致します。みなさんのお越しを心よりお待ちしております。よろしく
お願ひします。

石田三成

～忠誠を尽くした奉行の姿～

【岐阜】 1/30 (金) 19:30～21:30

【本荘】 1/31 (土) 14:00～16:00

【大垣】 1/31 (土) 19:00～21:00

2/1 (日) 14:00～16:00

【長浜】 2/8 (日) 14:00～16:00

予備日…2/7 (土) 大垣本部 14:00～16:00



※大雪警報が発令された場合は講座を延期致します

<講師> 秋枝 博士 (志門塾 生涯学習部講師)

<受講料> チケット 1 枚 2,160 円 (税込)

<場所> 岐阜 志門塾岐阜本部 (岐阜シティータワー43)

本荘 志門塾本荘校 (岐阜市稲荷町 5-1-6)

大垣 志門塾本部 3F (大垣市林町 3-186-1)

長浜 志門塾長浜校 (長浜市八幡中山町 519-1)

石田三成

永禄 3 年生まれ。羽柴秀吉の近侍をつ
とめる。秀吉の関白就任に際し従五位下治
部少輔に叙任。堺の奉行を兼ね、やがて豊
臣氏直属吏僚の中でも随一の奉行となり、
五奉行の筆頭となる。訴訟の処理、財政運
営、太閤検地などに貢献。また九州征伐、
小田原征伐、朝鮮出兵でも、兵站輸送、占
領政策の立案・実施などに才幹を発揮し
た。近江佐和山城主となり 19 万石を領す。
秀吉の死後、徳川家康と対立し、関ヶ原の
戦いに敗れて捕らえられ、京都で斬られ
た。享年 41 歳。

受講ご希望の方は、志門塾 生涯学習部までご連絡下さい。

TEL 0584-74-3011 E-mail akieda@shimonjuku.com



志門塾 生涯学習講座

石田三成の人物像

石田三成は豊臣家を支えた武将として活躍をしています。三成が残した辞世の句をひとつご紹介します。

つくまえ
筑摩江や 芦間に灯す かがり火と

ともに消えゆく わが身なりけり

【訳】 故郷・近江にある筑摩江の茂る芦の間から、漁師のかがり火が見える。

そのかがり火が消えるとともに わが一生も終わるのだろう。

【解説】 筑摩江は琵琶湖の内湖でしたが現在は干拓され、米原町入江地区がその場所になります。消えゆくかがり火は、おそらく豊臣家のことを比喻しているものと思われます。自分の死と共に豊臣家の命運も尽きたのだという解釈ではないでしょうか。このまま豊臣家が徳川の風下に立つのは三成自身看過できなかったのでしょうか。そのかがり火たる豊臣家は三成の心配通り、この15年後に消え去ることになります。

関連史跡の紹介



佐和山城跡（彦根市）

石田三成が入城し、荒廃が進行していた佐和山城の整備に着手し、5層の天守を持った城に変えました。関ヶ原の戦いでは、三成率いる西軍を破った徳川家康は、小早川秀秋軍を先鋒とする攻略軍を差し向けます。城主三成が不在で兵力の大半を失った佐和山城は健闘しますが、城内から裏切りが出て落城し、三成の父正継や三成の妻などが戦死あるいは自害しました。その後、徳川四天王の一人の井伊直政が入封します。



おとち 大蛇の岩窟（長浜市木之本町古橋）

関ヶ原の合戦で敗れた石田三成が、再起を期して戦場を離脱し、湖北・古橋へと逃れます。集落にある場所ではすぐに見つかってしまうと、村の与次郎という農民により標高約400mの山奥「大蛇の岩窟」に身を隠したと言われていました。村人たちは、三成を必死に匿おうとしますが、ついに9月21日、捕縛されました。